

アオヤンマ

Aeschnophlebia longistigma

兵庫県：A

環境省：準絶滅危惧(NT)

種の概要

腹長45～51mm、後翅長43～50mm程度。体色は淡緑色で、腹部背面には二本の黒条を有する。平地から丘陵地のヨシ・ガマなどが繁茂し水底に腐葉土が堆積しているような湿地や池沼に生息し、羽化した未熟個体は生息地周辺の樹林や草地などで成熟を待つ。成虫は5月～8月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、洲本市、伊丹市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、小野市、加西市、南あわじ市、加東市、たつの市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○		○

特記事項

CランクからAランクに変更

この10年ほど新しい生息地が見つからず、既産地からは次々に姿を消し、現在報告されている生息地は非常にわずかになってしまった。その生息地も市街地の中に取り残された古い手つかずの調整池や、多くの人を訪れる都市公園内の人工池であって、個体群は分断化され完全に孤立した状態になっている。管理上の理由で池の改修工事が行われる可能性もあって、新しい個体群が発見されない限り、県内から絶滅してしまう可能性が高い。

保護上の留意点

ヨシ、ガマ、マコモなどの抽水植生を刈り取らないこと。